

令和2年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

当法人は、地域の関係機関と緊密に連携・調整を図りながら、夜間・休日における初期救急医療事業、疾病の早期発見・早期治療に繋げる健診事業、健診結果を踏まえた事後支援事業のほか、医療従事者の安定的な確保に向けた地域医療従事者の養成事業などを一体的に実施し、市民の皆様の健康維持・増進を図り、安全で安心な医療を受けられる環境を提供するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的として各事業を実施しています。

夜間休日救急診療所部門においては、急病患者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として、宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、管理運営を行っております。

また、令和2年度は、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の拡大に適切に対応するため、「休日診発熱外来臨時検査室」を設置し、同時抗原検査が可能な環境整備に努めたところですが、令和2年度の患者数については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えや季節性インフルエンザの流行が起きなかったことなどにより、延べ8,742人、前年度比19,585人、69.1%の減となり、前年度を大きく下回りました。

健診センター部門においては、疾病を早期に発見し、早期に治療を促すための各種健康診断の実施など、市民の皆様の健康維持・増進に向け事業を推進しております。

事業所健診における令和2年度の受診件数は、生活習慣病健診において受診者が前年度比で増加したものの、他の健診等においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えなどにより、事業所健診全体では、前年度比1,922件、3.9%の減となりました。

宇都宮市から受託している住民健診は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う2か月間の健診中止や受診控えなどの影響により、前年度比5,160件、17.2%の減となりました。子ども健診については、前年度比7,410件、26.4%の減となりました。これらの健康診断受診者の総件数については、延べ93,119件、前年度比14,492件、13.5%の減となりました。

健康支援事業のうち特定保健指導においては、対象者の負担軽減のため初回面接を健診時に併せて実施したことで、対前年度比194件の増となったものの、全体では、前年度比1,288件、29.9%の減となりました。

普及・啓発活動では、ラジオなどのメディアや横断幕・受診勧奨ボード等のほか、イベント参加など様々な媒体等を活用して、市民の皆様の健康意識の向上や各種健診の受診率向上に努めるとともに、事業所健診などの検査結果を踏まえ、受診者の生活改善に役立つ健康教室の開催や、健康診断後のフォローに努めました。

また、健診業務における医療事故等の防止を図るため、ヒヤリ・ハット事例を検証し、対

応案をまとめるなど、リスクマネジメントを積極的に推進するとともに、各種業務の精度の維持・向上や個人情報の適正管理に努めました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。

また、資格取得の支援及び就業支援に力を入れ、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、毎夜間と日曜祝日の昼間に診療所を開設しております。

また、令和2年12月から令和3年1月までの間、季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の同時抗原検査を実施するための「休日診発熱外来臨時検査室」を設置し、感染拡大の防止や、医療供給体制の確保に努めたところです。

令和2年度の診療所実施状況については、昼間診療を74日、夜間診療（準夜・深夜）を365日実施し、医科・歯科を合わせた総患者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大や季節性インフルエンザの流行が起きなかったことなどにより、前年度比19,585人減の延べ8,742人と前年を大きく下回りました。

当診療所が開設して36年余が経過し、老朽化、狭あい化が進み、また、感染症対策やバリアフリー化、プライバシー保護などの対策も必要になってきたことから、市、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、事業団で構成する理事レベルの会議に、本年度も引き続き参画いたしました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	74日
		旧盆(8/13～16)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

(単位：人)

① 通常診療

(単位：人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	243	88	172	361	102	332	1,298	1,404	△ 106
準夜	823	380	467	1,231	395	883	4,179	4,243	△ 64
深夜	730	—	365	730	—	365	2,190	2,196	△ 6
合計	1,796	468	1,004	2,322	497	1,580	7,667	7,843	△ 176
前年度	1,817	488	1,022	2,384	531	1,601	7,843		
増減	△ 21	△ 20	△ 18	△ 62	△ 34	△ 21	△ 176		

② 休日診発熱外来臨時検査室

(単位：人)

区分	医師	看護師	臨床検査技師	合計	前年度比較	
					動員数	増減
昼間	28	28	56	112	0	112
前年度	0	0	0	0		
増減	28	28	56	112		

ウ 医科患者利用状況

医科における令和2年度の患者数については、新型コロナウイルス感染症拡大やインフルエンザの流行が起きなかったことなどに伴い、総患者数は前年度比18,394人減、71.8%減の7,223人となり、前年を大きく下回りました。

インフルエンザは、例年12月から流行期に入り、1月にピークを迎えますが、令和2年度は、厚生労働省が現行の方法で調査を始めた平成12年以降、初めて全国的に流行が起きず、本市の患者数は、総患者数のうち5人（前年度比2,655人減）となりました。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「休日診発熱外来臨時検査室」を12月と1月に開設、2カ月間で178名の抗原検査を実施しました。検査の結果、新型コロナウイルス感染症の陽性者は34名、陰性者は144名でした。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区分	R2年	R3年												合計	前年度比較		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増減	増減率(%)
		患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数				
昼間	日数	5	8	4	6	9	6	4	7	6	8	6	5	74	79	△5	—
	患者数	110	215	95	151	281	175	125	174	255(48)	332(130)	104	106	2,123(178)	8,826	△6,703	△75.9
	1日平均	22.0	26.9	23.8	25.2	31.2	29.2	31.3	24.9	42.5	41.5	17.3	21.2	28.7	111.7	△83.0	△74.3
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△1	
	患者数	261	289	299	318	371	316	302	336	296	260	199	282	3,529	12,406	△8,877	△71.6
	1日平均	8.7	9.3	10.0	10.3	12.0	10.5	9.7	11.2	9.5	8.4	7.1	9.1	9.7	33.9	△24.2	△71.5
	患者数	122	102	133	150	186	158	167	134	115	103	84	117	1,571	4,385	△2,814	△64.2
深夜	1日平均	4.1	3.3	4.4	4.8	6.0	5.3	5.4	4.5	3.7	3.3	3.0	3.8	4.3	12.0	△7.7	△64.1
合計		493	606	527	619	838	649	594	644	666	695	387	505	7,223	25,617	△18,394	△71.8
前年度		1,732	2,693	1,431	1,844	2,334	1,801	1,503	1,664	3,959	3,820	1,813	1,023	25,617			
増減		△1,239	△2,087	△904	△1,225	△1,496	△1,152	△909	△1,020	△3,293	△3,125	△1,426	△518	△18,394			
増減率(%)		△71.5	△77.5	△63.2	△66.4	△64.1	△64.0	△60.5	△61.3	△83.2	△81.8	△78.7	△50.6	△71.8			

※ 12月、1月の括弧内の数字は患者数のうち「休日診発熱外来臨時検査室」の受診者数。

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

令和元年度	令和2年度	増減	
		増減	増減率(%)
2,660	5	△2,655	△99.8

③医科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	6,938	285	7,223
構成比	96.1%	3.9%	100%
前年度	24,912	705	25,617
増減	△17,974	△420	△18,394
増減率(%)	△72.1	△59.6	△71.8

④転送機関別内訳 (単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一				
転送数	147	57	18	37	4	2	1	0	1	0	9	3	6	285
構成比	51.4%	20.0%	6.3%	13.0%	1.4%	0.7%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	3.2%	1.1%	2.1%	100%
前年度	367	169	40	56	2	6	3	0	0	1	37	8	16	705
増減	△220	△112	△22	△19	2	△4	△2	0	1	△1	△28	△5	△10	△420
増減率(%)	△59.9	△66.3	△55.0	△33.9	100.0	△66.7	△66.7	0.0	—	△100.0	△59.9	△59.9	△59.9	△59.9

※後方2次病院…重症者又は入院を必要とする患者の転送先
後方1.5次病院…重症ではないが点滴等が必要で、当所の診療時間内に診療が終了しないと判断した患者等の転送先

エ 歯科患者利用状況

歯科における令和2年度の患者数についても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えなどにより、前年度比1,191人、43.9%減の1,519人と前年を大きく下回りました。

①歯科月別受診者数

(単位：人)

区分	R2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年	1月	2月	3月	合計	前年度比較		
																患者数	増減	
																	患者数	増減率(%)
昼間	日数	5	8	4	6	9	6	4	7	6	8	6	5	74	79	△5	—	
	患者数	21	87	19	27	84	52	19	38	77	71	32	29	556	1,031	△475	△46.1	
	1日平均	4.2	10.9	4.8	4.5	9.3	8.7	4.8	5.4	12.8	8.9	5.3	5.8	7.5	13.1	△5.6	△42.4	
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△1	—	
	患者数	66	81	66	83	116	90	60	85	97	85	57	77	963	1,679	△716	△42.6	
	1日平均	2.2	2.6	2.2	2.7	3.7	3.0	1.9	2.8	3.1	2.7	2.0	2.5	2.6	4.6	△2.0	△42.5	
合計		87	168	85	110	200	142	79	123	174	156	89	106	1,519	2,710	△1,191	△43.9	
前年度		272	354	141	170	307	190	175	176	331	309	147	138	2,710				
増減		△185	△186	△56	△60	△107	△48	△96	△53	△157	△153	△58	△32	△1,191				
増減率(%)		△68.0	△52.5	△39.7	△35.3	△34.9	△25.3	△54.9	△30.1	△47.4	△49.5	△39.5	△23.2	△43.9				

②歯科患者転送状況 (単位：人)

③転送機関別内訳 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	1,503	16	1,519
構成比	98.9%	1.1%	100%
前年度	2,679	31	2,710
増減	△1,176	△15	△1,191
増減率(%)	△43.9	△48.4	△43.9

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	7	9	0	0	16
構成比	43.8%	56.2%	0.0%	0.0%	100%
前年度	9	19	2	1	31
増減	△2	△10	△2	△1	△15
増減率(%)	△22.2	△52.6	△100.0	△100.0	△48.4

(2) 診療体制

市民の皆様へのニーズを踏まえた初期救急としての医療サービスを提供するため、新型コロナウイルス感染症の感染予防策の徹底を図るとともに、関係医療機関との連携を図りながら体制の充実・強化に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を図りました。

イ 後方2次病院及び後方1.5次病院をはじめ、協力医療機関との連携を図り、患者の円滑な転送に取り組みました。

ウ 令和2年12月～令和3年1月(年末年始の昼間帯開設日を含む)の日祝日の昼間帯において、駐車場内に「休日診発熱外来臨時検査室」を設置し、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時抗原検査を実施しました。

エ 感染防止の徹底を図るため、タブレット端末を活用した遠隔診療や、サージカルマスク・キャップ・ゴーグル・フェイスシールド・ガウン・手袋等を装着した診療のほか、感染症の疑いがある患者を診察する陰圧装置を配置したコンテナを駐車場内に整備し、一般の患者との動線を分離するなど、診療所内の感染予防策の徹底に取り組みました。

オ 医療サービス向上のため、4月、8月、12月に、看護師、歯科衛生士、事務員を対象

に繁忙期の診療体制の確認，緊急時の対応，医療機器の取扱等の研修を実施しました。

また，3月に開催を予定していた薬剤師を対象とした研修は，新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止となりましたが，資料配布による情報の共有化を図りました。

※令和2年度の発熱外来診療方法別受診件数

診療科目 診療方法	内科	小児科	合計
タブレット	1,043	207	1,250
コンテナ	63	430	493
患者車内	133	362	495

(3) 普及・啓発活動

市民の皆様に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため，以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において，「救急医療の適正受診」に関することや，「夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方」について周知活動を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク，旧盆，年末年始における夜間休日救急診療所の利用の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また，新聞折り込みにおいても，健康維持に関する啓発記事を，年2回（7月，10月）掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に，夜間休日救急診療所の利用の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンの利用者や「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に配布しました。

2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、新しい生活様式が求められる中、中小事業所の従業員を中心とした事業所健診、市民を対象とした住民健診及び普及・啓発活動等の各種公益目的事業の効果的な推進に努めました。

健診事業においては、年度当初の緊急事態宣言発令により、事業所健診の延期や住民健診を2か月間中止せざるを得ない状況になりましたが、秋期の健診におきましては、一定の回復傾向となったところです。しかしながら、年度末に、再び新型コロナウイルス感染者が増加したことなどにより、住民健診の受診者が大幅減となり、事業所健診、住民健診、子ども健診の合計は、前年度比14,492件減の93,119件となりました。

健康支援事業では、事業所健診及び住民健診において、特定保健指導を同日に実施したことに伴い、一定の効果を上げましたが、健康支援事業全体では、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響を受け、前年度比1,288件減の3,019件の実施となりました。

また、感染症対策、受診率の向上、経費の削減など、安定的・効果的な事業実施に向けた課題への対応について、継続的に検討を行いました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別		令和2年度		令和元年度		増減	
		件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)
ア 事業所健診	定期健康診断	19,682	21.2	20,298	18.9	△ 616	△ 3.0
	生活習慣病予防健診	11,301	12.1	11,221	10.4	80	0.7
	人間ドック	1,650	1.8	1,740	1.6	△ 90	△ 5.2
	特殊健康診断	2,991	3.2	3,309	3.1	△ 318	△ 9.6
	結核検診	4,181	4.5	4,245	3.9	△ 64	△ 1.5
	その他の健診	2,461	2.6	3,376	3.2	△ 915	△ 27.1
	ストレスチェック	5,409	5.8	5,408	5.0	1	0.0
	小計	47,675	51.2	49,597	46.1	△ 1,922	△ 3.9
イ 住民健診	節目健診	2,078	2.2	2,749	2.6	△ 671	△ 24.4
	地区健診	5,443	5.9	7,457	6.9	△ 2,014	△ 27.0
	地区巡回健診	7,450	8.0	8,669	8.1	△ 1,219	△ 14.1
	乳がん検診	5,207	5.6	5,807	5.4	△ 600	△ 10.3
	子宮がん検診	4,222	4.5	4,852	4.5	△ 630	△ 13.0
	特定健康診査単独	259	0.3	154	0.1	105	68.2
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の健診	123	0.1	254	0.2	△ 131	△ 51.6
	小計	24,782	26.6	29,942	27.8	△ 5,160	△ 17.2
ウ 子ども健診	心臓検診	13,869	14.9	14,090	13.1	△ 221	△ 1.6
	結核検診	3,556	3.8	4,805	4.5	△ 1,249	△ 26.0
	その他の健診	3,237	3.5	9,177	8.5	△ 5,940	△ 64.7
	小計	20,662	22.2	28,072	26.1	△ 7,410	△ 26.4
合計		93,119	100.0	107,611	100.0	△ 14,492	△ 13.5

ア 事業所健診

巡回型の健診においては、特に新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、顧客との調整に最善をつくし、健診事業を推進しました。生活習慣病健診で、若干の受診者増となったものの、受診控えなどにより、全体で前年度比 1,922 件 3.9%減の 47,675 件の実施となりました。

イ 住民健診

宇都宮市から受託している住民健診については、前年度に引き続き、早朝健診・出前健診・協会けんぽとのタイアップ健診等を、感染予防対策の徹底を図りながら実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2か月間の健診中止としたことから、下半期の受診者の受け入れ枠の拡大や保健所健康増進課と連携した受診勧奨を行ったことなどに伴い、秋期の健診において一定の受診者の増が見られたものの、通年を通して、受診控えの傾向が続いたことなどから、前年度比 5,160 件 17.2%減の 24,782 件となりました。

ウ 子ども健診

市内の小学校1年生、4年生及び中学校1年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、開催時期の調整を行い 13,869 件実施しました。

子ども健診全体では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などに伴い、受診者が減少したことにより、前年度比 7,410 件 26.4%減の 20,662 件となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和2年度		令和元年度		増減	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)
特定保健指導	749	24.8	555	12.9	194	35.0
その他の事後支援事業	2,270	75.2	3,752	87.1	△ 1,482	△ 39.5
合計	3,019	100.0	4,307	100.0	△ 1,288	△ 29.9

特定保健指導については、指導対象者の負担軽減のため試験的に住民健診及び事業所健診と初回面接を同日に実施したことなどにより、前年度比 194 件増の 749 件となりました。

また、その他の事後支援事業については、感染症対策を徹底しながら、必要な指導勧奨を行いました。前年度比 1,482 件減の 2,270 件の実施となり、健康支援事業全体では、前年度比 1,288 件減の 3,019 件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

令和元年度の宇都宮市国民健康保険の被保険者に対する特定健康診査の健診結果のうち、メタボリックシンドローム判定、特定保健指導レベル判定、検査項目別判定及び血液検査判定についての分析結果及び労働安全衛生法等に基づく職域の労働者の一般健康診断の分析結果を宇都宮市に提供しました。

(4) 普及・啓発活動

ア メディアを通じた普及啓発活動

市民の皆様が健康について考える契機とするため、栃木放送を通じた健康診断の受

診勧奨（４月）や禁煙週間（５月）に合わせて健康維持や疾病に関する予防・意義について周知するなどの啓発活動に取り組みました。

イ 各種健診の受診率向上への取り組み

① 事業団建物及び検診車両等を利用した市民への周知

市民の皆様が、健康診断を受診する契機とするため、各種運動月間等に合わせて横断幕や掲示ボードを事業団建物及び各検診車両に掲げ、広く市民の皆様にも周知しました。

また、路線バス乗降口に車内外から目視できる受診勧奨ボードを掲げ、健康診断の周知に努めました。

掲示期間	内 容
４月	健康診断受診勧奨
５月	禁煙
６～８月	健康診断受診勧奨
９月	がん征圧
１０月	乳がん
１１月	糖尿病
１２～１月	高血圧
２月	生活習慣病
３月	大腸がん

② イベント等への参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で恒例のイベントが中止となる中、高齢者の皆様を対象に宇都宮市が主催する「いきいき自転車教室」が開催され、自転車のプロ競技団体とのタイアップで保健師等が講演を行い、市民の皆様の健康意識の向上を図りました。

実施日	出向先	参加人数
令和２年１１月１０日	オリオンスクエア「いきいき自転車教室」	３６人

③ 結果データの活用

市内の小中学校児童・生徒を対象に実施した令和２年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、令和２年１１月に市内小中学校養護教員宛に配布しました。

ウ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ 元気アップ通信

テーマ：①「認知症の予防と早期発見」②「熱中症を予防しよう」③「放ってはいけない脂肪肝」④「感染症を予防しよう」

※ ヘルスアップレター

テーマ：①「健康寿命を知っていますか」②「熱中症を予防しよう」③「感染症を予防しよう」④「お酒と肝臓」

(5) 精度管理の向上

ア 健診スタッフの技術の向上

人間ドック学会等が主催する各種研修会に保健師等がオンラインにて参加し、資質の向上に努めました。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し、正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的実施しました。

ウ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催する腹部超音波検査、血液検体検査、労働衛生検査及び日本乳がん検診精度管理中央機構が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加し、各種検査の精度向上に努めました。

(6) 安全管理の徹底

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリ・ハット事例を検証し、原因分析、防止対策等の検討を組織的に進めるとともに、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識の向上を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報の適正管理に努めました。

(7) 経営の安定化

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診者の減や、人件費をはじめとした健診実施コストの上昇などの課題が顕在化し、健診センターの経営を圧迫していることから、当センター内に対策組織を設置し、受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営のための検討を継続的に行っています。早急な対応が可能な内容等については、令和3年度事業計画及び予算書に反映しました。

(8) 健診システムの更新

現行システムは平成27年の導入から5年余りが経過し、ハード面、ソフト面の双方で故障のリスクが高まっていること、また、煩雑な事務処理をより効率的に処理することを目的として、令和4年4月の本格稼働を目的に新システム構築に着手しました。

令和2年度においては、構築作業の前段となる事業団内部の意見調整や事業者との打ち合わせを実施しました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置などに努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、少子化や看護系大学の増加による全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向は回復せず、本校においても、令和3年度生の受験者は、前年度より5名増加するも30名にとどまり、入学生は21名となりました。定員に対する学生数は、平成29年度から、連続して定員を下回る状況にあります。

(1) 教育実施状況

学年	人数 2年4月 (人)	教育科目（座学講義）				臨地実習			教育実施 時間合計 (時間)
		基礎 科目	専門基礎 科目	専門 科目	合計	講師数	実習 時間	実習 施設	
		国語 外国語 音楽 その他 (時間)	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 その他 (時間)	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護 (時間)					
1年生	21	105	305	415	825	50	238	13	1,063
2年生	27	0	80	250	330		497		827
合計	48	105	385	665	1,155	50	735	13	1,890

※ 1年生については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、座学講義が22時間、臨地実習が最大28時間未履修のため、進級後に履修予定

(2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（15か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25か所）の訪問をはじめ、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人ほか、宇都宮市内の保育園を訪問し、情報提供を行うとともに、子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月休日、9月休日、11月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、インターネットによる募集や宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載を行うなど、情報発信に取り組みました。

また、新たに学校ツイッターを開設し、更なる情報発信に努めました。

エ 入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担の軽減策としての貸与・給付や返還免除などの国や県の給付金や修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向け丁寧な制度の周知に取り組みました。

(3) 教育環境の充実

ア 生徒指導、相談体制の強化を図るため、令和元年度から委託した栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月2回実施し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。

イ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期研修会（1名）、12月研修会（1名）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により12月研修会はオンラインで実施され、他の教員はオンラインで参加しました。

イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため、例年8月及び3月に実施している実習指導者会議は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

(5) 実践活動の充実

例年2年生を対象に、准看護師としての見聞を広め、感性を豊かにすることを目的として実施している研修旅行は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会理事による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い、看護師学校進学者4名を除く就職希望者20名のうち18名が県内の医療機関に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	21	入学者 18名（受験者数 25名） 復学者 3名
進路変更等	4	退学者 3名 留年者 1名
進級者	17	

イ 2年生の状況

	人 数	備 考
卒業生	24	
うち准看護師試験合格者	24	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	4	進学率 16.7%
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	18	就職率 90%
就職活動中・他分野進学	2	
その他	3	休学者 2 名, 退学者 1 名
合 計	27	

ウ 令和 3 年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 面接

	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推 薦 入 試	令和 2 年 1 0 月 2 7 日 (一般教養・作文・面接)	0	0(0)	/
一般入試 (第 1 回)	令和 2 年 1 2 月 8 日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	15	13(11)	
一般入試 (第 2 回)	令和 3 年 1 月 2 6 日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	11	9(7)	
一般入試 (第 3 回)	令和 3 年 3 月 9 日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	4	3(3)	
合 計		30	25(21)	1.20

※ 令和 3 年度入学生 21 名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書を整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、3年制教育移行後の授業計画に基づく講義を継続するとともに、介護施設・障害者施設において実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内の歯科医院に加え県内の歯科医院に学生募集案内のポスター掲示を依頼したほか、新聞広告にオープンキャンパスの特集の掲載やJR宇都宮駅や東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示、歯科衛生士PRカードを作製・配布するなど広報活動の強化に努めました。

(1) 教育実施状況

学年	人数 2年4月 (人)	教育科目（座学講義）					合計 (時間)	講師数 (人)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野			
		英語 生物 心理学 その他 (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他 (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他 (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科 (時間)			
1年生	43	105	204	471	30	810	35	
2年生	51	30	30	105	45	210	11	
3年生	46	15	198	423	30	666	10	
合計	140	150	432	999	105	1,686	56	

臨地実習 (施設臨床実習及び介護施設実習含む)		教育 実施 時間 合計 (時間)
実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	
—	—	810
765	41	975
135		801
900	41	2,586

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校を訪問しました。
- イ オープンキャンパスを6回（7月、8月、9月）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
 - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市広報紙掲載（10月、1月）
 - ・ インターネットによる学生募集の広報
 - ・ 学生募集案内を新聞広告へ掲載
 - ・ JR宇都宮駅、東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示
 - ・ 歯科衛生士PRカードの作製・配布

(3) 教育環境の充実

- ア PMTC用コードレスハンドピースの購入、口腔内撮影用カメラの更新、歯周治療実習用模型の更新など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師・指導教員打合せ会を開催し、実習内容等について協議を行いました（参加者96名）。
- イ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。また、平成30年度から改正したカリキュラムを実施し、学生の学力等の向上を図りました。
- ウ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ 「フッ化物塗布事業」や「歯の健康教室」へ参加しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 11月より就業支援を行い、就職希望者45名のうち42名が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1年生（第43期生）の状況

	人数	備 考
学生数	43	入学者 43名（受験者数 46名）
進路変更等	2	退学者 2名
進級者	41	

イ 2年生（第42期生）の状況

	人数	備 考
学生数	51	
進路変更等	3	退学者 1名, 留年者 2名
進級者	48	

ウ 3年生（第41期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	45	
うち歯科衛生士国家試験合格者	42	合格率 93.3%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	40	就職希望者 45名（就職率 93.3%）
医療機関就職者（歯科助手）	2	
就職活動中	3	
その他	0	
その他	1	留年者
合 計	46	

エ 令和3年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合, 適性検査, 面接

試験区分	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 学	令和2年 9月27日	32	22 (22)	/
推 薦・特 別 入 学	令和2年10月15日	27	22 (22)	
一般入学(第1回)	令和3年 1月21日	16	7 (4)	
一般入学(第2回)	令和3年 2月14日	4	2 (2)	
一般入学(第3回)	未実施	—	— (-)	
合 計		79	53 (50)	1.49

※ 入学定員 50名

※ 令和3年度入学生 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 理事会定例会	令和2年 5月28日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和元年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校臨床実習施設の変更について 議案第4号 令和2年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	令和2年 6月16日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事長, 同副理事長, 同常務理事の選定について
第3回 理事会臨時会 (決議の省略)	令和2年 9月28日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団健診センター健診システムの更新について 議案第2号 令和2年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第1号)
第4回 理事会定例会 (決議の省略)	令和2年 12月17日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 専決処分した事件について
第5回 理事会定例会 (決議の省略)	令和3年 3月25日	議案第1号 令和2年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第3号) 議案第2号 令和3年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事務局長の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団職員の永年勤続表彰について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属歯科衛生士学校臨床実習施設の変更について

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	令和2年 6月16日	議案第1号 令和元年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和2年 6月16日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和2年 7月3日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
令和2年 6月26日	事業報告等の提出
令和2年 8月18日	変更の届出（役員等の変更）

(5) 役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	片山 辰郎	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	手塚 敏男	
理事	7	増山 哲茂	
		福田 哲夫	
		長谷川英一	
		石崎 一郎	
		小久保 雅司	
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監事	2	佐藤 行正	
		高島 一彦	令和2年6月16日就任
評議員	11	菅家 透	令和2年6月16日就任
		小林 健二	
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		手塚 英和	
		緒方 秀徳	
		阪口 勉	
		杉本 育夫	令和2年6月16日就任
		宮崎 務	
		高橋 郁夫	
		坂本 裕一	
合計	23		

(6) 職員に関する事項（令和3年3月31日現在）

職名 部門	事務局長	次長	課長 学科長 主幹	課長補佐 GL副主幹 副主幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主任	主任書記 主任技師	書記 技師	専任教員	嘱託員	合計
	事務局	(1)									1
総務課			1		1		3				5
救急診療所			1		2	1				1	5
健診センター											0
事業推進課			1	2	2	1	3	3		3	15
健診課			1	2	7	3	6	1		1	21
准看護学校			1 (1)		1				2	1	5
歯科衛生士学校			(1)	1					3	2	6
合計	0	0	5	5	13	5	12	4	5	9	58

※ 事務局長，准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員である。